

温度・湿度・被衝撃の3要素

同時に計測・保存

器が
機電
計型
田藤
小

【厚木】藤田電機製作所(神奈川県二宮町、藤田力社長、0463・71・0651)は、温



度、湿度、被衝撃履歴の3要素を同時に計測・保存する小型計器(データロガー)「ウオッチロガーKT-295」を月内に発売する。コンテナや段ボール貨物などに取り付け、運搬環境の履歴を管理できる。データロガーの価格は4万6800円。初年度約3万台の販売を見込む。データロガーの

サイズは縦横34×90ミリ、厚さ15ミリ。センサーとCPUを内蔵し、記録用に電氣的消去再書き込み可能ROM(EEPROM)を用いた。消費電力を抑え、コイン型のリチウム電池で約60日の連続使用が可能。測定可能条件は温度が40〜90度C、被衝撃度は5〜76G。

非接触情報読み取り式とUSBコネクタ接続式の2種類がある。自社開発ソフトを組み込んだウィンドウズパソコンと組み合わせることで、データロガーと取り付けた貨物などの温度、湿度、被衝撃値の履歴閲覧が可能。

各項目で上限を設定して、超えた場合に警告を出すことも可能。非接触式情報読み取り器を用いた場合の、データ読み取り時間は1秒以内。貨物の品質管理などの用途を開拓する。